

普通科数学124班

長さと比～収納編～

班員 柳田千奈 坂上結衣 井上めい

指導者 小川敬弘先生 コーチ 山本卓也 様



研究の動機

綺麗に収納するためのものの長さと比を解明するため。学校のロッカーが使いにくく感じて、改善したいと思ったため。

研究目的

使いやすいロッカーの縦・横・奥行きを解明しロッカーのリニューアル案を提出する。

先行研究

おすすめ収納サイトでは「ファイルボックスが入る縦・横・奥行き」を重視するとよいと言われている。ヨクヨの調査によると、平均的なビジネスマンが1年間に探し物に費やす時間は80時間だそうです。年間の勤労日数を240日とした場合、1日あたり20分もの時間を無駄に費やしていることになります。当然のことですが、書類の整理をすることで、これらの時間を削減することができれば業務効率をアップさせることができます。

研究方法

1. 学校のロッカーの縦、横、奥行きの長さかる。
2. 長さの比と面積を求める。
3. 教科書を入れてみる
4. モデルを作る
5. みんなに使ってもらう
6. アンケートを取る
7. まとめる



仮説

ロッカーは収納しやすく作られており、規則性があるのではないか。また、この研究で今まで以上に使いやロッカーなどの比を見つけることができるのではないか。



必要な道具

ものさし、メジャー、本や教科書など、ロッカーを作る道具
ダンボール、カッター、木

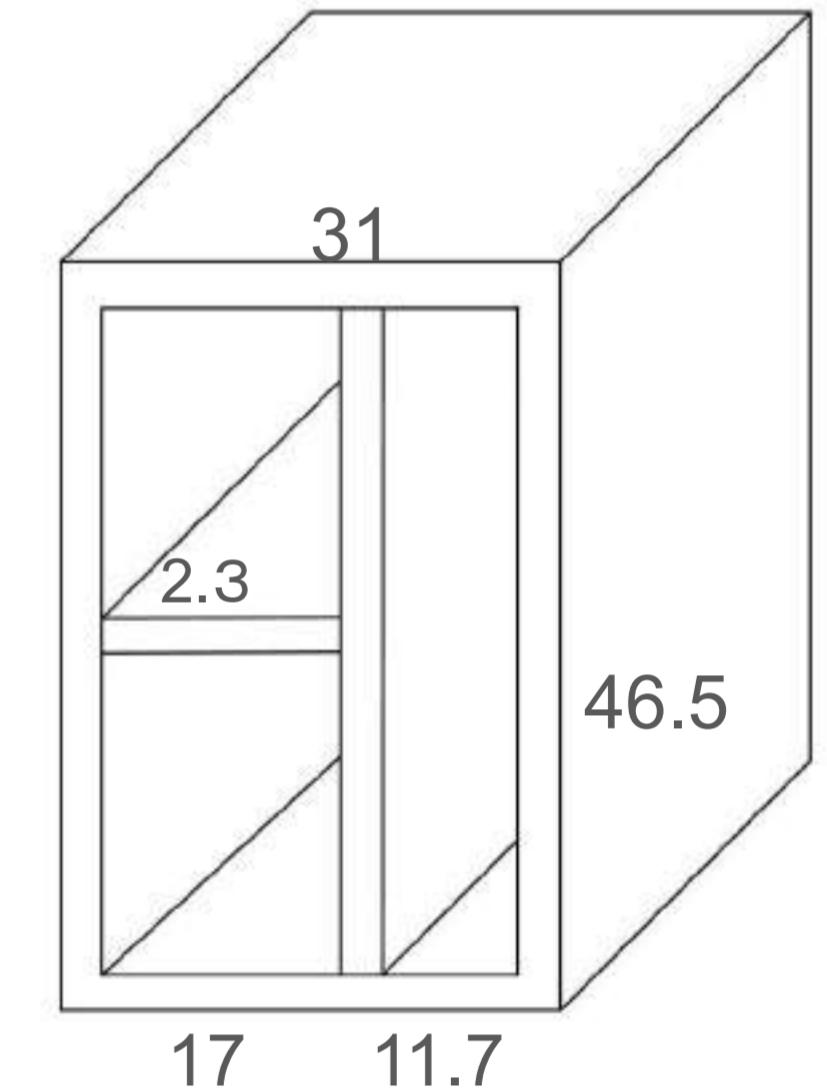
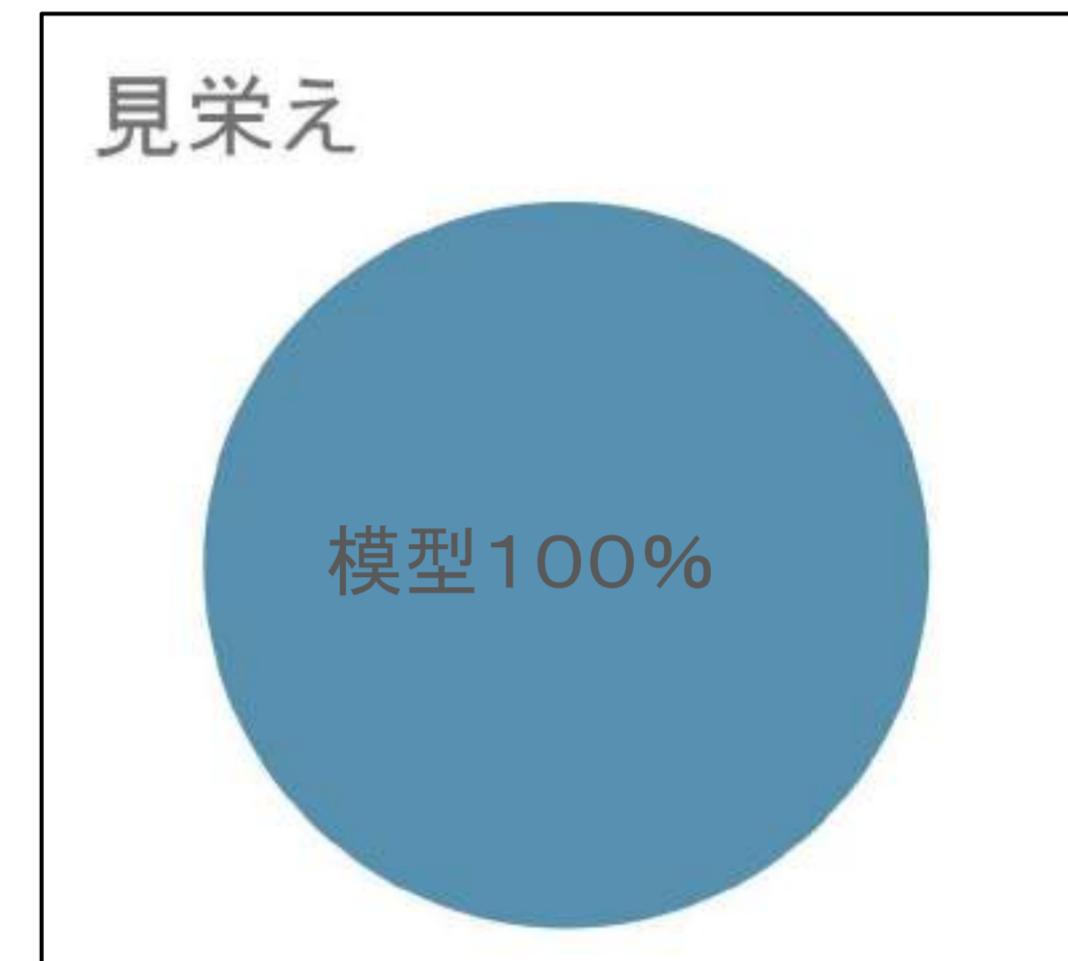
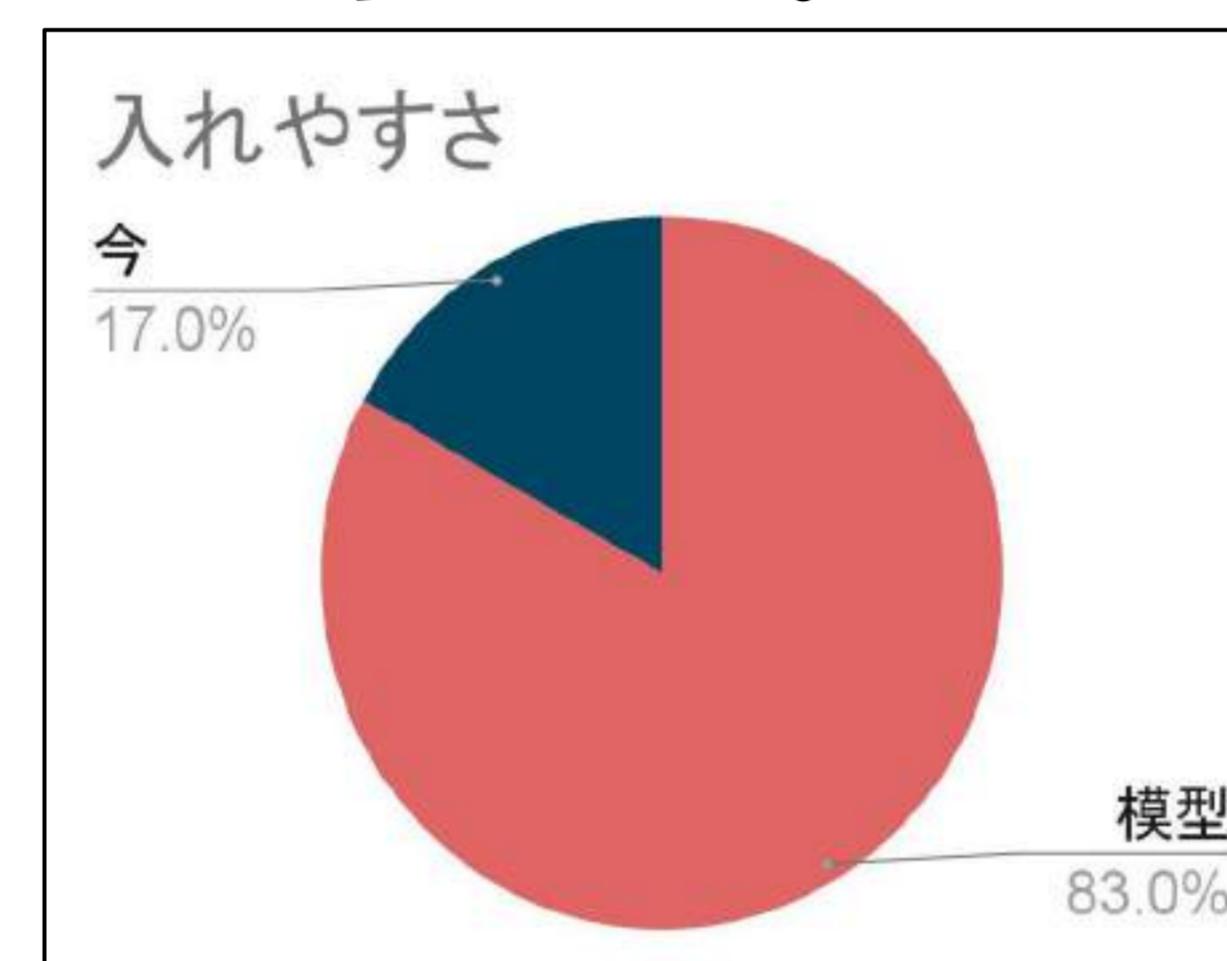
参考文献 「きれいが続くこだわり」

https://www.dinos.co.jp/furniture_s/article_storagetechnic/11/

仕事の効率をアップする適切な書類の整理とは？3つの視点でアイデアを紹介 | PFUジャーナル

結果

作った模型と今のロッカーを「入れやすさ」「見栄え」の項目で比較したアンケートではどちらの項目も模型と答えた人が多かった。



模型

全体 3:2

教科書 13:10 0.7:1

ファイル 4:1

今

中に入っている教材は全て同じもの
(を使っていて国数英社理保健全て)
の教科のものを入れている。

模型と今では体積は変えていなくて中の仕切りの入れ方をファイルの大きさや教科書の大きさに合わせて変えただけだが、入れやすさや見栄えが今の方が良いと答える人が8割以上だったことから、模型のロッカーの比の方が今に比べて延高生に合っているということが分かる。

考察

このことから私達が作ったロッカーのほうが入れやすく見栄えが良いことがわかったので学校のロッカーを改善することで誰でも使いやすくなると考えられ、入れやすいということもあり休み時間の10分間を有効活用できるので学力を向上させることにもつながると考えられる。

昔の教科書はA5サイズが主流だったことと現在の教科書はA4サイズが主流なことから、延高のロッカーはA5サイズの教科書に合わせて作られたのではないかと考えられる。その時の時代背景によってもロッカーの大きさは変わることがわかった。